

予防接種の 受け方

ワクチンは子どもたちを感染症から守るためにとても大切なものです。子どもたちの健康づくりのために、ぜひワクチン接種を受けて下さい。

生後2か月が「ワクチンデビュー」。多くのワクチンがあります。2023年度から四種混合の接種も始まります。

時々母子手帳を開いて、受け忘れたワクチンがないか確認することも大切です。



他のワクチンとの間隔

2020年10月より、種類の違うワクチンを受ける際の間隔についての制限が大幅に緩和されました。

注射生ワクチン同士では効果が減弱することがあるため**4週間(中27日)以上あける**ことになっていますが、これは変更がありません。

その他の場合は接種間隔について、制限はすべてなくなりました。例えば不活化ワクチン、経口生ワクチン接種後に日数をおかず、他のワクチンの接種を受けることができます。注射生ワクチン接種後についても、不活化ワクチンと経口生ワクチンであれば制限はありません。

ただし、新型コロナワクチンについては、インフルエンザをのぞいて前後2週間ずつは他のワクチン接種ができません。

【参考】

○注射生ワクチン：BCG、麻疹・風疹混合、おたふくかぜ、水痘など

○経口生ワクチン：ロタウイルス

○不活化ワクチン：ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、日本脳炎、インフルエンザ、B型肝炎など



2023年4月版

0歳の予防接種 ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日

スケジュール

0歳の赤ちゃんをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。このスケジュールはNPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。

ワクチン名	接種済み <input checked="" type="checkbox"/>	誕生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
mRNA ワクチン 新型コロナ 臨時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン B型肝炎 (母子感染予防を除く) 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン ロタウイルス 定期	1価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5価 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン ヒブ 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 小児用肺炎球菌 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 四種混合 (ジフテリア・百日せき 破傷風・ポリオ) 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン BCG 定期	<input type="checkbox"/>													
生 ワクチン MR (麻しん風しん) 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン 水痘 (みずぼうそう) 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
生 ワクチン おたふくかぜ 任意	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
不活化 ワクチン 日本脳炎 定期	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													

必要回数を接種するために生後2か月になったらすぐに同時接種で受けましょう。

接種スケジュールは変更になることがあります。事前に最新情報をご確認ください。

1回目の通常3週間後に2回目、2回目の8週間後に3回目を接種。

1価ワクチンと5価ワクチンがあります。初回は遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けます。

3回目を生後6か月までに受けるようにしましょう。

0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4-5か月の間隔をあけます。

予防効果を長期にわたって維持するために1歳代の追加接種を忘れずに受けましょう。

1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・MR・水痘・おたふくかぜの6本を同時接種で受けることもできます。

標準的には3歳から接種しますが、生後6か月から受けられます。

mRNA ワクチン 注射・スタンプ式 臨時 無料(全額公費負担)。
 不活化ワクチン 経口 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。
 生ワクチン 任意 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

臨時 臨時の予防接種の対象年齢
 おすすめの接種時期(数字は接種回数)

定期 定期の予防接種の対象年齢
 任意接種の接種できる年齢

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。

国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/> VPD 検索